

血管疾患および心臓疾患の診断評価のための自動画像処理システムの開発

1. 研究の対象

2014年4月以降で当院の第三内科に外来通院または入院された方のうち、診断機器画像（X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等）による大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈および心臓の撮像を行った方。

2. 研究目的・方法

〈研究意義及び目的〉

大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈は、動脈硬化により狭窄、拡張、解離など、病的変化が出現します。これらの評価については、X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等が用いられます。その読影については、経験のある医療者が注意深く行っていますが、画像処理システムを併用することにより、より正確により迅速に行えるようになります。しかしながら、現時点ですぐれた画像処理システムは存在しません。本研究の目的は、さまざまな血管の画像をコンピュータで処理して、適切な診断が行えるソフトを開発することです

〈研究方法〉

検査で得られた血管および心臓の画像のデータを個人がわからない形のデジタルデータに加工し、それをコンピュータ上に移して、画像処理するプログラムを開発します。その際に、X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等の所見を比較します。また、診断の確認のために、電子カルテの記録を参照しますが、画像と同様に個人がわからない形でデータ化して用います。

尚、本研究の実施により、患者さんの直接的な利益はありませんが、研究の進展により、新しい診断方法の開発に貢献できる可能性があります。尚、本研究で得られた知的財産権は発明者主義により当院ないしは共同研究機関に属します。本研究は既に取得した画像情報及び電子カルテより抽出した臨床情報を使用するため、患者さんへの侵襲はありません。6. の項目に記載されたプライバシー保護の方法により、個人情報の厳重な管理を行います。

個人が分からないように匿名化されたデータを理化学研究所へ提供し、システムの解析を依頼します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断機器画像（X線CT、MRI、超音波診断法、血管造影等）による大動脈、冠動脈、末梢動脈、脳動脈および心臓の撮像

4. 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

住所： 沖縄県中頭郡西原町字上原 2 0 7

電話：098-895-1150

研究機関名： 琉球大学医学部附属病院第三内科

担当者氏名： 大屋 祐輔

研究責任者：

住所： 沖縄県中頭郡西原町字上原 2 0 7

電話：098-895-1150

研究機関名： 琉球大学医学部附属病院第三内科

担当者氏名： 大屋 祐輔